議　事　録

会議等の名称	第４回東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	開催日時	令和元年9月26日（木） 午後7時00分～午後8時30分
		場　所	東御市中央公民館　学習室５
主催者(事務局)	東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	進行者	清水正博副会長
出席者	【委員】 清水正博（副委員長）、三溝和子、小林昌義、中堀雅夫（委員長）、宮嶋武彦、篠原博文 武井良一、武田順子、岡田真平、関　豊春、渡邉真也、上薗美千代（事務担当） 【オブザーバー】荻野孝志（県スポーツ協会）、西村健太郎（県体育センター）、木下智宏（東信教育事務所） 【東御市】小宮山勇司、小林靖宗、手塚小百合		
欠席者	なし		

協議事項	(内容及び議題) （１）アンケートについて （２）マスタープランについて （３）令和２年度事業計画（案）について （４）その他
主な決定事項 (要点筆記とする)	・小学生及び未就学児の親子を対象にアンケート調査を実施する。
次回への検討事項	・マスタープラン ・令和２年度事業計画（案）

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
	副委員長	開会・進行
		本日の会議から、東信教育事務所の木下さんにオブザーバーとして新たに参加いただくことになった。
	委員長	委員長あいさつ・会議進行
	事務担当	（１）アンケートについて、会議資料に基づき説明
		・前回案として示させていただいたものから、スポーツ種目を選択式から自由記載に、運動・スポーツへの期待値
		を選択式から段階評価に変更した。
		・アンケートは10月上旬配布、中下旬回収・分析のスケジュールで予定している。
	委員	入っているスポーツクラブの質問は、「市のスポーツ教室」「スポーツ少年団」と具体的に選択できるように
		したほうがよい。
		情報入手の媒体についての質問に、「学校や保育園からのお知らせ」を追加してほしい。
	委員	スポーツ種目を選択式から自由記載にしたことで、どんな種目があるのかがわかりにくくなった。質問項目に種目
		を載せる必要はないが、一番最初に種目の具体例として記載しておいた方がわかりやすいと思う。
	委員長	意見が出された内容を反映させアンケートを実施することとします。
	事務担当	（２）マスタープランについて、会議資料に基づき説明
		10年後の目標
		・助成金が終了した後は、会費や委託金による自立した経営
		・会員数は東御市人口１％の300名
	委員	10年後の会員数目標が300名は少ない。目標値であり、会費単価設定にも直結するため目標を上げた方がよい。
	委員長	活動拠点（事務局）をどこにするかもイメージしておいた方がよい。
	委員	事務局を置く場所については、敷地借地や電気代といった経費が発生するため、基本的には公共施設に置いて
		そういった経費負担がないように考えたほうがよい。
	委員	10年後の目標設定するうえで、会員の年代や年度ごとの種目数とか細かく試算したほうがよい。
	委員	会員拡大については、例えば保育園を回って一人100円をもらって運動遊びを指導するといったような仕組み
		をつくるとか積極的に実施したい。
	事務担当	いただいたご意見をもとに改めてマスタープランを検討します。
		（３）令和２年度事業計画（案）について
	委員	里山探検事業の現状と総合型クラブでの取り組み案について、会議資料に基づき説明
		・平成23年から身体教育医学研究所や体育協会、市、県などの関係者によりネットワークを組んで子どもの
		育ちを支える事業を行ってきており、現在積極的に取り組んでいるのが里山探検です。
		・里山探検は、現在身体教育医学研究所が事務局となり実施しているが、今後総合型クラブで実施したい。
	事務担当	令和２年度事業計画（案）について、会議資料に基づき説明
		・説明のあった里山探検について、一度に全て移行すると混乱するため令和２年度はキラキラ、ドキドキ、
		ニコニコのうちのニコニコを総合型クラブに移行して定期開催したい。
		・不定期開催として、単発的なプレイベントや放課後あそびプログラムの実施を検討しているが、総合型
		クラブを広く周知するためにどんなイベントを開催すると会員獲得につながるか、３班に別れてワークショ
		ップ形式によって意見をもらいたい。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
		【ワークショップの実施】
	１班	・里山探検参加者拡大のため、中央公園の林を使って参加しやすいイベント
		・里山探検ニコニコを四季の森だけではなく、北御牧地区にも会場を確保する
		・ダンスの需要がある。屋内での運動から外あそびに繋げる接点があるとよい
	２班	・キャンプ部やトランポリン部のような他にない種目のプログラムがあるとよい
		・参加者が増えればスタッフも必要。スタッフ養成イベントのような催し
	３班	・里山探検を知らない人は多い。知っていれば協力してくれる人はたくさんいる
		・子どもが中学までは親は忙しいが、それ以降は時間に余裕がある。その世代に協力を呼びかける
		・イベントや会員募集の周知方法に工夫が必要。市広報やHP、フェイスブック等は思っているより効果が薄い
	事務担当	いただいたご意見をもとに改めて令和２年度事業計画を検討します。
	副委員長	閉会